	テーマ I 【災害対応体制】	テーマⅡ 【情報連絡体制】	テーマ皿 【住民の避難対策】	テーマⅣ【物資の供給/調達】	その他
	<ハード面> ①庁舎からの避難と片付け等による初期対応開始の遅延 ②庁舎や通信設備の被災により災害対策本部設置予定場所が使用できず、代替施設も設備が不足		<ハード面> ①防災無線スピーカーが被災し情報が伝わらない地区が発生 ②指定された避難所に津波が押し寄せ被災	くハード面> ①物流の停止・燃料不足により物資調達、供給が遅延 ②通信網被災により災害応援協定先と連絡が取れず初動対応が遅延	[I] ①市町村職員数の不足により、避難 所運営等の体制が不十分 ②他機関のヘリコプターとの活動 調整機能が不足 ③発災当初の関係機関同士の連携、 意思疎通が不十分
課題	(運用面>③県災害対策本部に業務や問合わせが集中し、膨大な業務量に忙殺④県災害対策本部の班体制事務分掌と実際の業務にズレが発生⑤町村役場機能の移転を余儀なくされたが、受入体制が未整備	速な情報連絡に支障	 (運用面> ③消防団員等避難誘導者が被災したり、避難指示に従わない住民も発生(津波への警戒心が希薄) ④要援護者の避難誘導が不十分 ⑤県立学校や地方本部直営の避難所において市町村との役割分担、物資調達で混乱 ⑥入院患者、施設入所者等の受け入れ先確保に苦慮 	(運用面>③県災害対策本部に要望した物資の配送が遅れたり手配誤りが発生④医薬品等特殊な管理が必要な物資の取扱いが不十分⑤在宅避難者への支援が不十分⑥災害従事車両証明書の不正利用が発生	④現行の市町村地域防災計画での 災害対応が不十分
	<ハード面> ①庁舎・通信設備の耐震化を促進し、迅速な初期対応を行うための対策準備 ②代替施設を含めた災害対策本部設置場所と資機材の整備促進	<ハード面> ①無線・衛星携帯電話等通信手段の多重化による連絡体制確保維持	<ハード面> ①防災無線の耐震化と住民への情報伝達手段の多重化(エリアメール、ツイッター等の活用) ②適切な想定に基づく地震・津波による被害想定 ③地域特性を考慮した避難場所、避難路の設定	〈ハード面〉 ①緊急時の必要資材(ガソリン等燃料合む)の備蓄と広域供給体制の構築②民間・自治体間の災害時応援協定の拡充と連絡体制・実効性の確保 ③都道府県境を越えた相互応援協定の推進	への支援体制の整備
見直しの方向性	<運用面> ③業務量に応じた人員配置を行うなどの柔軟性のある体制を構築 ④初期対応を時系列に明記した対策の策定 ⑤各班の事務分掌と班体制のあり方を実態に合わせ見直し ⑥大規模災害により災害対策本部機能が喪失又は著しく低下した市町村への対応	派遣し市町村のフォロー	 (運用面> ④防災従事者の安全確保とルール作り、住民の防災意識啓発と自主防災組織の充実強化(自助・共助の充実) ⑤津波避難指示にかかる発令基準の策定促進 ⑥要援護者避難支援体制の充実 ⑦市町村間を越える広域避難や、県有施設に避難所を設置する場合の市町村との連携・運営体制の構築 ⑧住民の安否や避難先の確認手段の多様化 ⑨中・長期の避難を想定した体制整備・・ ⑩県災害対策本部と関係団体間との連絡調整体制を整備 	<運用面> ④支援物資配給体制の整備 ⑤薬剤師協会等関係団体間との連携強化 ⑥在宅避難者への支援体制の充実 ⑦災害従事車両指定方法の改善	災計画の見直しへ反映 ⑤防災計画等に男女共同参画の視 点を追加